SDGs新聞 | 西日本旅客鉄道株式会社

手ぶらで改札を通れるようにする「顔認証改札機」

☑ SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは電車に乗る時、どうやって改札を通りますか？
券売機できっぷを買って通る人、「ICOCA（イコカ）」などのカードでタッチして通る人もいると思いますが、
手ぶらで通ることができればうれしいですよね。
そこで、鉄道会社の「JR西日本」が開発したのが「顔認証改札機」です。
この「顔認証改札機」は改札を通る時に、顔と登録されたデータとを照らし合わせるだけで、改札が開く仕組みです。
これによって、手ぶらでも、両手に荷物を持ったままでも通れるようになります。
現在はまだ実験をしている段階ですが、みなさんが大人になる頃には、
「顔認証改札機」が当たり前の世界になっているかもしれませんね。
これまでになかった新しい技術やアイデアが生まれることは、人々の幸せ、社会の成長につながります。
みなさんも、何か新しいアイデアはありますか？

☑ SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：顔認証改札機（JR西日本テクシア公式HPより）

今の自動改札機は、きっぷや定期券、ICOCAなどの交通系ICカードで通過しますが、「JR西日本」では新たに、「QRリーダー」を搭載した改札機の導入に向けて取り組んでいます。この改札機は、スマートフォンなどで購入した「QRコード※乗車券」をQRリーダーにかざすだけで通過できます。チケットレス化を促進することは利便性の向上だけでなく、資源の節約にもつながります。さらにJR西日本では、「顔認証改札機」の導入に向けた実証実験も行っています。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

（顔認証の流れ）
① 事前に顔画像とICOCA定期券情報を登録（個人情報として厳正に管理）
② 改札通過時、顔画像から特徴点データを抽出
③ 特徴点データを顔認証用サーバへ送信
④ ①で事前登録いただいているモニターの特徴点データと照合
⑤ 照合結果を改札機に送信
⑥ 照合結果が合致していれば、通過可能（抽出した特徴点データは即時削除）
※個人情報管理やカメラの検知範囲などの詳細については、2月頃に別途お知らせします。

画像参照：顔認証改札の概要
（JR西日本「NewsRelease」より）

この「顔認証改札機」は、顔と「登録した顔写真のデータ」とを照らし合わせるだけで、改札を通過できる仕組みです。現在の改札機のような開閉ゲートはなく、両手に荷物を持ったままでも通過できるようになります。また、マスクを着けていても問題なく利用できます。さらに、入場レーンと出場レーンがともに右側通行で分けられ、入場者と出場者がすれ違いながら通過できるのもポイントです。現在は大阪駅（うめきた地下口）と新大阪駅東口に設置、実用化に向けて日々さまざまな実験データを集めているところです。

☑ キーワード

交通系ICカード

お金をチャージして使用するカード式の乗車券です。JR西日本の「ICOCA」のほか、いくつかの種類があります。

実証実験

「新しいアイデアや技術が実際に機能するかどうか」を、検証するための試験的な実験です。小さい規模で実験を行いながら、問題がないかを確認していきます。

うめきた地下口

2023年に開業した、「大阪駅（うめきたエリア）」にある新しい乗り場です。

☑ 対象ゴール

みなさんにできること！

電車などに乗る際にはICカードなどを使用して、チケットレス化に協力しましょう。

おさらい

- JR西日本では、チケットレス化に向けてさまざまな取り組みを行っている。
- チケットレス化は利便性の向上だけでなく、資源の節約にもつながる。
- JR西日本では、きっぷやICカードなしで改札を通過できる「顔認証改札機」の実用化に向けて取り組んでいる。

メモ

SDGs ラジオ